

---

議案第46号 工事請負契約の締結について（（仮称）白老町食育・防災センター建設（厨房設備）工事）

○議長（山本浩平君） 日程第21、議案第46号 工事請負契約の締結についてを議題に供します。提案の説明を求めます。熊倉会計課長。

○会計課長・会計管理者（熊倉博幸君） 議案第46号でございます。工事請負契約の締結について。

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定に基づき、次のとおり工事請負契約を締結するものとする。

平成26年2月27日提出。白老町長。

1 契約の目的、（仮称）白老町食育・防災センター建設（厨房設備）工事。

2 契約の方法、制限付一般競争入札。

3 契約の金額、2億1,378万円。

4 契約の相手方、国策・白老特定建設工事共同企業体。代表者、苫小牧市字勇払149番地、国策機工株式会社、代表取締役、長谷川敬。構成員、白老郡白老町若草町1丁目2番20号、株式会社白老設備工業、代表取締役社長、和田輝雄。

5 契約保証金、白老町契約に関する規則第35条第2号の規定により免除。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○議長（山本浩平君） ただいま提案理由の説明が終わりました。

これより本案に対する質疑を許します。質疑があります方はどうぞ。5番、松田謙吾議員。

○5番（松田謙吾君） 5番、松田です。今5本の食育・防災センターの入札の提案がなされました。私は先般の提案で反対をしました。食育・防災センターの建てることへの反対ではないのです。私は建てなければならないものは建てなければならないし、今の財政事情の中でも少しコンパクトにしたらどうか、これは一貫して私が述べてきたことです。そして今回本体工事、9月12日確か不調に終わったわけなのですが、あのときに5,900万円ほど不足しているからという影ながら声があって不調に終わったと聞き及んでおります。このたびその本体工事4,000万円ほど不足しているのです。4,000万円ほど見直しして入札が成立しております。私が今ここで何を言いたいかというと、9月12日に43号から46号までの4本の議案これは不調ではなく下げたわけです。その後たしか9月27日、4本このままに再入札の結果、入札が行われ今日まで仮契約までしたと思います。あれ以来6カ月になるのです。本体工事が5億幾らでこれがの入札予定価格と合わないということでありますが、この4本が約7億円です。7億円がすんなりいったかどうか知りませんが入札がされまして、それ以来6カ月たちます。前の説明でありましたけれども全国もそうなのですが新聞でもいつも出ておりますが、とにかく日一日、月ごと、週ごとに単価の見直しをしなければ、資材の高騰、人件費の高騰、さまざまな単価の高騰によって入札不調に終わっている。これは全国的な傾向です。私は心配するのは6カ月前にこの4本の入札が終わって、6カ月して、先ほど言った一日ごと、週ごと、月ごとに単価が

変わっていくこの中で6カ月前に入札した業者が、6カ月投げられておいて4月から工事が始まると思うのですが、この業者は見直さないでこの単価で入札してしまった。私は6カ月も置かれると思って入札したとは思っていません。恐らくこの業者方は1カ月もすればもう一回きちんといくだらう、そして年内には事業も着工できるだらう、このような思いで入札したと思うのです。しかしながら6カ月になった。消費税も変わってくる、新しい年度、もう一度単価の見直しや人手不足が入れている中で私はこの6カ月前の単価の業者が正当な設計どおりの仕事ができるかという心配は本当に思うのです。私も事業やったことがあります。大体入札して6カ月して、この激動な建設業界、そして人手不足、単価の見直し、消費税の見直し、仕事に単価が上がって、アベノミクスではないけれども働き人の給料も上げなければならない現状だと思うのです。そんな中でこの6カ月前の入札した4本の方々がまともな仕事ができるのかという危惧をするわけなのですがその辺の考え方をお聞きしたいと思います。

○議長（山本浩平君） 岩崎建設課長。

○建設課長（岩崎 勉君） 議員の言うところもわかると思います。ただこれにつきましてのは入札して仮契約したところにはある程度その状況を話しながらできるかできないかの確認はしております。その中でやっていけるのではないかという話で今回このような契約に至っております。それと契約が不調にならなくても機械設備とか電気設備の工事は年度入ってから、要は建築の主体工事がある程度、冬は未施工期間がありましたので4月くらいから工事に入るような形を予定していましたので、その辺はもう最初から新年度から工事が入るという形で、機械設備とか電気設備は新年度から工事が入るという形の計画の中で入札していただいたとそういうふうに考えております。

○議長（山本浩平君） 5番、松田謙吾議員。

○5番（松田謙吾君） 何も私は難しい話を言っているのではないのです。単純に工事の感覚からいくと6カ月も置いて、先ほど言ったいろいろな問題がある中で。確かに今冬場だから、今度春から初めるから大丈夫だという言い方かもしれないけれども、当初の工期26年12月。今度は2月までとかという話を聞いております。そうすると4月から始めると10カ月しかないのです。当初は1年4カ月ありました。16カ月あったのです。今度は4月から始めると10カ月しかないです。だから夏場とか何とかという問題よりも、25年9月ころと26年4月からの建設業界の厳しさというのは金ばかりではないのです。人手不足、品不足、大きな問題があって、わざわざ言わなくてもわかると思うのですが、そういうことを心配するものですからいろいろな理由づけをくつつけるのではなく本当にできるのならできるでそれでいいのです。私は見守るしかありませんから。ただやっぱり設計の見直しとか、それから工期の遅れとか私は今から出てくるような気がしているのです。ですから余り難しいことは言わないので、そうなるかもしれないぐらいのことを言っておいてほうがいいのです。やったものはつくらないといけないのだから。私が言っているのはそこなのです。

○議長（山本浩平君） 岩崎建設課長。

○建設課長（岩崎 勉君） 議員のおっしゃるとおりで今物価が上昇している状況でありま

す。それはほかのところもそうなのですけれども、今国のほうの指導の中で物価スライドを見ながらその辺の契約変更とかも考えなさいという話で指導があります。その辺はその物価の上昇を見ながら、余りやりたくはないのですけれども、もしあればまたご相談させていただきたいとそういうふうを考えております。

○議長（山本浩平君）　ほか、質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君）　質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君）　討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第 46 号 工事請負契約の締結について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成多数〕

○議長（山本浩平君）　反対、5 番、松田謙吾議員、7 番、西田祐子議員、13 番、前田博之議員。反対 3、賛成 9。

よって、議案第 46 号は原案のとおり可決されました。